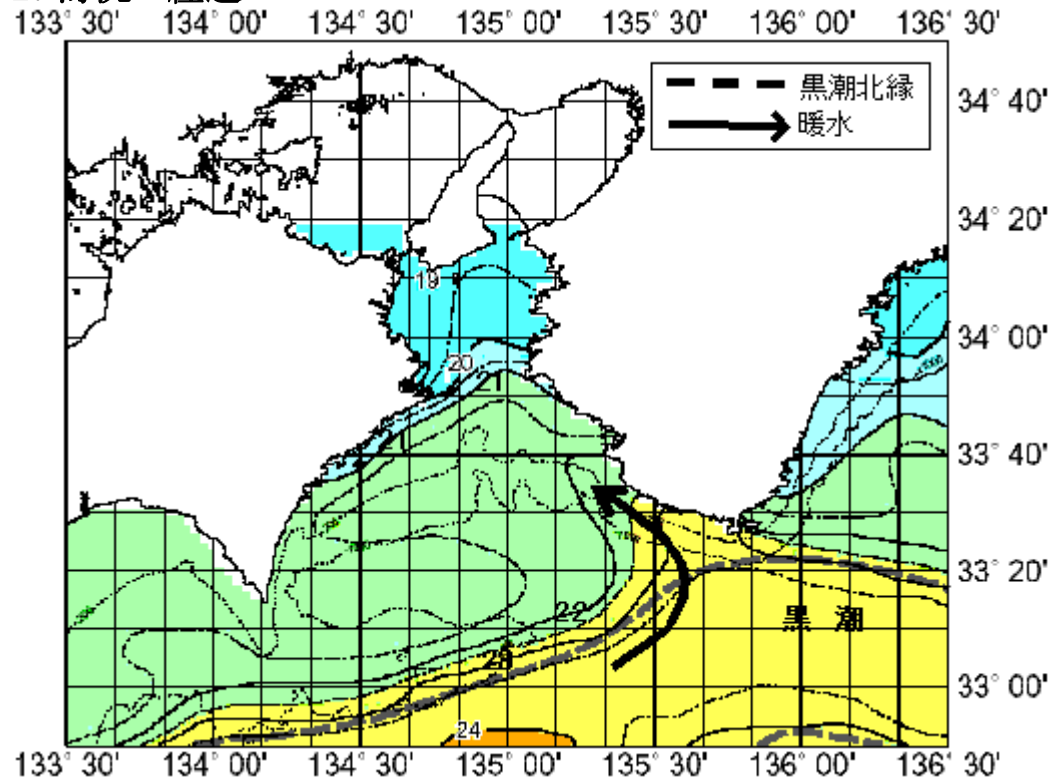


1. 海況の経過



海況 上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.12.1)を示した。

先週に引き続き、黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は23～24℃台である。

表面水温は播磨灘が16℃台、紀伊水道が18～20℃台、外域が20～21℃台である。

紀伊水道外域は、和歌山県側からの暖水波及が続いている。海部沿岸では、紀伊水道からの20℃台の内海系水に覆われている。

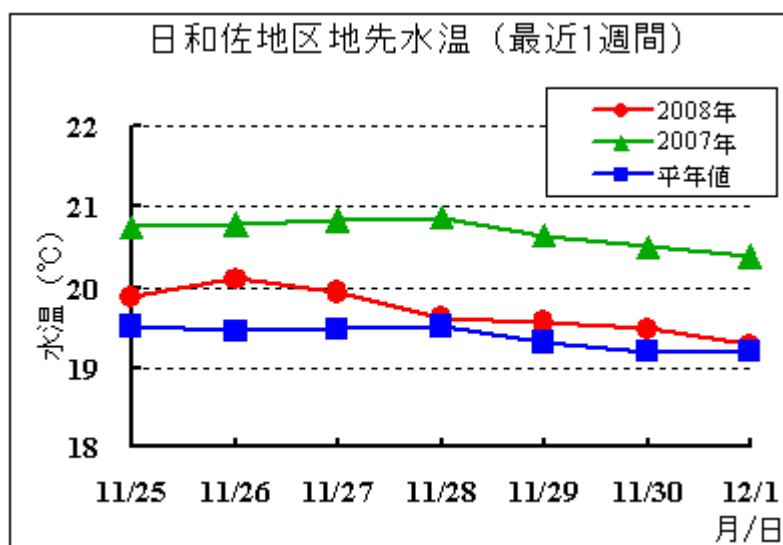
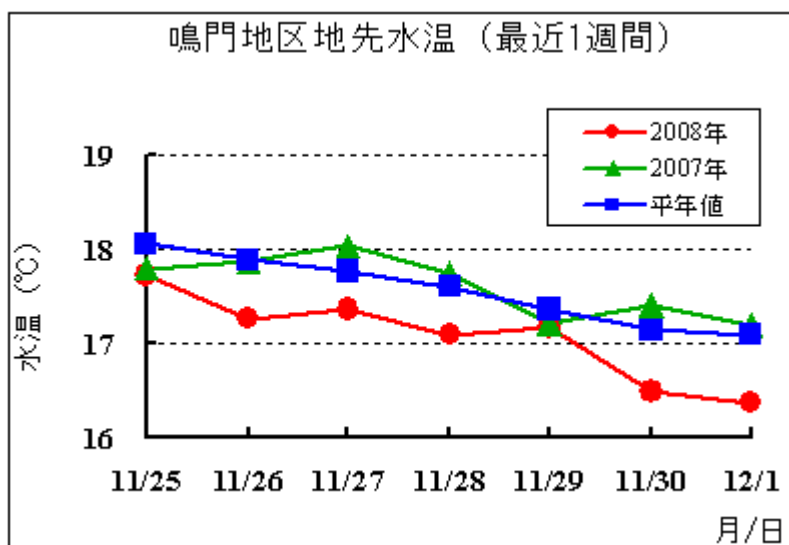
漁業調査船「とくしま」が11月18日に行った海部沖合海区の海洋観測では、水温は表層～50m層で「平年並み」の22.0～22.5℃、100m層で「低め」の18.6℃であった。

海部沖合海区観測結果 (観測日 2008/11/18)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	22.5	22.5	22.5	22.4	22.0	18.6	今年値	34.1	34.1	34.1	34.1	34.2	34.6
平年偏差	0.2	0.1	0.1	0.0	-0.2	-1.5	平年偏差	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	-0.2	0.0
前年偏差	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	-3.4	前年偏差	-0.4	-0.4	-0.4	-0.4	-0.2	0.0

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の16.4～17.7℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の19.3～20.1℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の18.7～20.4℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

海部沿岸では、冬の魚であるサバフグ、メジナ、ウツボ等が見られる。

**延縄:**海部沿岸で、大主体にサバフグが0.3トン(1日1隻あたり37kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが1.3トン(同46kg)、中主体にタチウオが1.3トン(同89kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.7トン(同112kg)、大主体にカワハギ類が0.3トン(同56kg)、中主体にカンパチが1.3トン(同425kg)、小主体にゴマサバが0.6トン(同93kg)、小主体にタチウオが3.6トン(同891kg)、中主体にハマチが0.6トン(同310kg)、マルソウダが0.4トン(同81kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが0.9トン(同7kg)、中・小主体にタチウオが2.5トン(同38kg)、ハマチが12.8トン(同48kg)、特大主体にヨコワが0.4トン(同18kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが11.9トン(同125kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 11月24日～11月30日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	サバフグ	9	336	37	大主体	
小型定置網		アオリイカ	28	1,283	46		
		タチウオ	15	1,332	89	中主体	
大型定置網		アオリイカ	6	674	112	中主体	
		カワハギ類	5	282	56	大主体	
		カンパチ	3	1,275	425	中主体	
		ゴマサバ	6	560	93	小主体	
		タチウオ	4	3,562	891	小主体	
		ハマチ	2	620	310	中主体	
		マルソウダ	5	404	81		
釣り		アオリイカ	132	935	7	大・中主体	
		タチウオ	65	2,502	38	中・小主体	
		ハマチ	268	12,823	48		
		ヨコワ	20	361	18	特大主体	
パッチ網		紀伊水道	シラス	95	11,875	125	

### 特異事項:

漁業調査船「とくしま」が行った紀伊水道のクラゲ目視調査の結果、紀伊水道でクラゲを確認できなかった。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬は接岸からやや離岸、潮岬は接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや低め」の16～15℃台、日和佐地先で「やや低め」の19～18℃台で推移する見込み。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上